

# 民俗舞踊を学ぶ会開催要項

主催 学校体育研究同志会広島支部広島民俗舞踊教育研究会(広島民舞研)

[広島支部代表・広島大学 大後戸一樹]

民俗舞踊は、地域の民衆に支えられ受け継がれてきたもので、生活(労働)に密着したものが多く、その地域の独特の踊りとして広く民衆の間で踊られてきました。多様な動きと豊かな表現性に富んでおり、民俗芸能のひとつとして継承・発展させていくことが大切です。

民俗舞踊は、子どもたちの身体感覚を育て、表現力を高めていく教材として注目されています。これらの民俗舞踊を授業や保育の中で取り上げる時、何をどのように伝えていけばよいか、また、子どもたちにつけたい力は何かを研究していくため、下記の要領で、民俗舞踊を学ぶ会を開催いたします。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 2026年6月28日(日) 9:30~16:00

2. 場所 広島大学附属小学校 体育館  
広島市南区翠1丁目1-1

3. 日程

9:10 受付

9:30 開会

実技…①七頭舞コース

②はねこコース

※①か②どちらか  
選んで参加する

12:00 休憩

13:00 実技…午前と同じ

15:30 まとめ・片づけ

16:00 閉会

#### 4. 内容

### 中野七頭舞（岩手県）

七頭舞は、開拓の踊りと言われ、2人1組になって、七つの道具を持ち七つの種類の踊りを踊ったところから名付けられています。「先打ち」を先導に谷地（荒地）を払いながら、悪魔やけものをなぎ倒し、太刀を振るって退治します。そうやって次第に開拓を進め、稲作りも盛んになります。穀物を作る生活の中で、餅をつくための杵が登場し、弓矢を使うことで鳥や獣の肉を捕るようになり生活も安定していきました。そのうえで扇を使い、ヒョットコを表現して生活を楽しむという一連の流れになっています。

今回はこの長い踊りの中から、「チラシ」と「切り合い」を取り上げて、どのように子どもたちに伝えていくか、からだにとって無理のない「からだづかい」で踊っていくことができるような指導法を学び合ひましょう。



### はねこ（宮城県）

宮城県石巻市桃生町・寺崎八幡神社に伝わる民俗舞踊です。

宝暦・天明・天保の時代に、たびたび未曾有の飢饉にみまわれた村の人々がある年予想もしなかった豊作に恵まれ、喜びあふれて「田作り」の一連の身ぶりで踊ったのが始まりと言われています。

※扇（2本）をお持ちの方はご持参ください。



#### 5. 資料・通信代等 1000円（学生500円）

学校体育研究同志会の会員は、無料

#### 6. その他

\* 持ち物：昼食、飲み物、タオル

足袋・扇（2本）…お持ちの方

お問い合わせは下記まで。

府中なかよし保育園 乾 亜希 [inuiaki1210@gmail.com](mailto:inuiaki1210@gmail.com)